

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公表番号】特表 2020-516280 (P2020-516280A)
 【公表日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-023
 【出願番号】特願 2019-555594 (P2019-555594)
 【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/6883 (2018.01)

C 1 2 Q 1/6858 (2018.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/6883 Z N A Z

C 1 2 Q 1/6858 Z

C 1 2 N 15/09 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 24 日 (2021.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 18】

(A - 2) 前記生体試料からの第 3 の T G F B I 遺伝子配列を増幅するステップであって、前記反応混合物が、R 1 2 4 S, A 5 4 6 D, H 5 7 2 R および H 6 2 6 R からなる群から選択される第 3 の T G F B I 変異のための第 3 の標識プローブをさらに含むステップと、

(B - 2) 前記第 3 の標識プローブを、前記第 3 の T G F B I 遺伝子配列とハイブリダイズするステップと、

(C - 2) 前記第 3 の標識プローブの、前記第 3 の T G F B I 遺伝子配列とのハイブリダイゼーションに基づき、前記第 3 の T G F B I 遺伝子配列における変異を検出するステップと

をさらに含む、請求項 16 または 17 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

いくつかの実施形態において、本明細書において記述されている本発明の方法に従って調製された約 1 μ L、約 2 μ L、約 3 μ L、約 4 μ L または約 5 μ L のゲノム DNA 試料を、約 0.05 μ L、約 0.10 μ L、約 0.15 μ L、約 0.20 μ L、約 0.25 μ L または約 0.25 μ L の 30 X、35 X、40 X、45 X、50 X または 100 X リアルタイム PCR アッセイミックスおよび蒸留水のみと組み合わせて、PCR マスターミックスを形成することがわかった。いくつかの実施形態において、PCR マスターミックスは、約 1.5 μ L、約 2.5 μ L、約 5 μ L、約 6 μ L、約 7 μ L、約 8 μ L、約 9 μ L、約 10 μ L、約 11 μ L、約 12 μ L、約 13 μ L、約 14 μ L、約 15 μ L、約 16 μ L、約 17 μ L、約 18 μ L、約 19 μ L もしくは約 20 μ L またはそれ以上の最終体

積を有する。いくつかの実施形態において、PCRマスターミックスを形成するために、 $2\ \mu\text{L}$ の上述した通りに調製したゲノムDNA試料を、約 $0.15\ \mu\text{L}$ の40XリアルタイムPCRアッセイミックスおよび $2.85\ \mu\text{L}$ の蒸留水のみと組み合わせることがわかった。